



平成 18 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 キ タ ム ラ
代表者の役職氏名 代表取締役社長 武 川 泉
(コード 2719 : 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役管理部長 菅 原 孝 行
T E L 0 4 5 (4 7 6) 0 7 7 7

平成 19 年 3 月期 中間期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 6 月 23 日(連結)・平成 18 年 5 月 15 日(単体)に公表した平成 19 年 3 月期中間期の業績予想について下記のとおり修正いたします。

記

(1) 連結業績予想の修正

当中間期の連結業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	63,249	1,403	416
今回修正予想(B)	67,394	1,268	95
増減額(B-A)	4,145	△135	△321
増減率(%)	6.6	△9.6	△77.2
(ご参考)前期実績 (平成 18 年 3 月中間期)	58,227	589	△468

(2) 個別業績予想の修正

当中間期の個別業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	51,952	1,500	600
今回修正予想(B)	50,994	1,447	518
増減額(B-A)	△958	△53	△82
増減率(%)	△1.8	△3.5	△13.7
(ご参考)前期実績 (平成 18 年 3 月中間期)	51,484	1,275	465

修正の理由

経営資源の「選択と集中」の戦略をとり、子会社である株式会社ジェイドラッグを売却(平成 18 年 10 月 1 日)いたしました。結果、売却損 253 百万円を中間期で計上いたしました。また、減損損失 263 百万円を計上いたしました。

これにより、株式会社キタムラとキタムラグループは、「ピクチャリング」に集中する戦略に特化してまいります。

①競争の激化は、「ウィナーズ テイク オール」と言われる傾向を深めています。

「ナンバーワントップ」のポジショニングがますます重要になってきました。

②株式会社キタムラとキタムラグループは、「ピクチャリング」に集中する戦略を進めてきました。

イ. 2006 年 4 月 1 日「コニカミノルタ」のラボと、子供写真スタジオを買収しました。

ロ. 2006 年 6 月 23 日「株式会社カメラのきむら」の株式を買収しました。

株式会社キタムラとキタムラグループは、「ピクチャリング」というスローガンの下に、デジタル時代の写真の全てのサービスと技術を深めてまいります。

(3) 平成 19 年 3 期通期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の業績予想

平成 19 年 3 月期通期の業績予想(連結・個別)につきましては、変更しておりません。

(注) 上記の業績等は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により、業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上